

くるみ

被災報告 常陸七福神めぐり



東日本大震災にあたり

三月十一日に発生いたしました、東日本大震災において被災されました皆様に心からお見舞い申し上げます。この震災によって笠間稲荷神社におきましても、本殿柱、鳥居の倒壊、社務所、境内各種工作物にいたるまで大きな被害を被りました。しかしながら、当日多くの方に参拝に来て頂いていた中、人的被害が一切なかった事は幸いでした。

この、未曾有の大地震、天津波、原発事故というまさに三重苦と言うべき国難に際し、見えたものがあります。それは、日本人の姿でした。国民は秩序正しく、被災者でありながらも他を思いやることを忘れず、助けあう姿を見せていました。その姿に、海外メディアは称賛を惜しみませんでした。普段、日本に批判的な論調が目立つ中国でさえもその姿を称えました。そして、この日本人の国民性が、第二次世界大戦後の奇跡的な復興をなしたとげた要因であり、此度の困難に対しても必ずや克服し、美しい日本をとり戻すであろうと。

天皇陛下におかせられましたは、三月十六日にテレビを通しておことばを発せられ、その後、自主的な節電、様々な形でのご援助、被災地の方々に励まされるためのご訪問をなさるなど、心を寄せられております。そのお姿に深い敬意を感じ入るばかりです。陛下は「自衛隊、警察、消防、海上保安庁をはじめとする国や地方自治体の人々、国内のさまざまな救援組織に属する人々が余震の続く危険な状況の中で、日夜救援活動を進めている努力に感謝し、その労を深くねぎらいたく思います」と申されました。陛下御自らが、自衛隊の労を直接ねぎらわれた事は、戦後の歴史上、非常に意味のあることであり、今尚、救援活動に従事している自衛隊員にとつてどれだけの励ましになったことでしょうか。

笠間稲荷神社の菊まつりを通して、交流を持ちますドイツのラー市からは復興の願いを込めて、子供たちが歌を歌った動画や、励ましのメッセージを込めた、ポストカード・八七一通が送られてきました。ロータリーや様々な活動を通して、交流のあるアメリカ、台湾、韓国、フィリピン、タイ、レバノン、クウェート、ヨルダン等、各国からも励ましの言葉を頂きました。厚く感謝する次第です。

地震から三ヶ月がたち、当社も徐々にですが復興への歩をみせております。しかしながら、前述しましたように、その被害規模は大きく、まだまだ多くの困難があることかと存じます。職員一同、まずはご参拝に来て頂くご崇敬者の方々の安全を確保しながら、復興奉賛会を立ち上げ、笠間稲荷神社が震災以前よりもすばらしい姿となるよう努力しております。

最後に、書面にて恐縮ではございますが現在に至るまでに多くの方々に、お見舞い、復興へのご奉賛の誠心を頂いておりますことを感謝申し上げます、皆様の御心に叶う、笠間稲荷神社への復興をお誓い申し上げます。今後とも、ご指導、ご鞭撻、ご協力をお願い申し上げます。

笠間稲荷神社 宮司 塙東男

笠間稲荷神社被災報告

三月十一日 午後二時四十六分頃、東北沖を震源とするマグニチュード9の地震が東日本をおそいました。笠間市でも震度6強の揺れがあり、笠間稲荷神社も被災しました。



被害は大きく、参道の6m鳥居は倒壊、7.5mの鳥居は一部損傷、今後倒壊の危険があるため、崇敬者の安全を考慮し、撤去。
境内末社の2mの鳥居も倒壊しました。境内燈籠の倒壊、地盤沈下による常夜灯の傾斜、眷属の落下による損壊、手水舎の横ずれさざれ石の柵の倒壊、楼門の破損、東門の額の落下、拜殿東・西廻廊取り合い部分損傷、玉垣の倒壊、境内地面には亀裂が走りました。



重要文化財の損傷

国指定重要文化財の本殿も被害を受けました。繫虹梁（龍彫刻）の亀裂損傷・柱とのずれ、向拝柱の横ずれ、床柱の傾斜、基礎基盤のずれや陥没が起こりました。又、崇敬者奉納の玉垣も一部損傷および倒壊、美術館の屋根瓦が落ちるなど被害は多岐にわたりました。



社務所の被害も大きく、旧館・新館の繋ぎ目から内壁、外壁にヒビが入り破片が散乱、階段の壁のパネルが落ち、貯水タンクも破損し、停電や断水により通常の社務が困難になりました。
幸いにもこの地震による人的被害はありませんでした。

四月九日には例大祭に併せ

国家の安泰を祈り

復興祈願祭を斎行しました。



大震災以降、神社本庁副総長・熱田神宮宮司小串和夫様、神宮少宮司高城治延様、伊弉諾神宮宮司本名孝至様、伏見稲荷大社宮司中村陽様、鶴岡八幡宮宮司吉田茂穂様、東京大神宮宮司松山文彦様を始め、多くの神職の方々に当社にお越し頂き復興への祈りをささげて頂きました。

尚、今日に至るまで神社界の皆様、崇敬者の皆様にはお見舞い、温かい励ましの言葉を頂いておりますこと、厚く御礼申し上げます。

当社では、一日も早い復興を目指し、復興奉賛会を立ち上げ、皆様のご奉賛を募っております。

何卒、ご理解、ご協力をお願い申し上げます。

お問い合わせ 電話 0296-73-0001

復興奉賛会事務局まで



七月 八月

一日 二日 三十日 一日 七日

月次祭 一の午 旧大祓式
月次祭 事比羅祭 末社祭 一の午 献燈祭



笠間稲荷神社 祭事予定

献燈祭 八月七日（第一日曜日） 午後五時

火は、我々の暮らしに大きな恵みをもたらしてくれませんが、時には災いの元にもなります。

当日は三月十一日に起きた東日本大震災の被害に遭われた方々の慰霊祭を斎行するとともに、火がもたらす日々の恵みに感謝と、稲荷大神様の御神威により国家繁栄と皆様の諸祈願成就を祈念し、時刻になると境内の行燈に、灯りが灯されます。

行燈は

中行燈 五千円

大行燈 壹万円

よりご奉納頂けます。

事比羅祭 八月一日 午後一時

末社祭 八月一日 午後三時

笠間稲荷神社の境内に枝社（えだやしろ）としてお祀りされた事比羅神社、月読神社、白山比咩神社、菅原神社、栗島神社、山倉神社の例祭が斎行されます。



九月 十月

一日
六日
十五日
十七日
二十五日

一日
十二日
二十三日

月次祭
一の午
秋祭
秋季皇霊祭遙拝式
小笠原流弓馬術礼法
三々九手挟式

月次祭
一の午
神嘗祭奉祝祭
講社大祭
菊花品評会早咲き審査



中秋祭 九月十二日 午後四時半
毎年旧暦の八月十五日、中秋の名月と呼ばれる十五夜の日、月読神社の前にすすきや団子をお供えて、月読尊の御神徳に感謝を捧げるお祭りが斎行されます。

神嘗祭奉祝祭 十月十七日 午前八時
神嘗祭は、その年に収穫された初穂を伊勢の神宮にお祀りされている皇祖・天照皇大御神（あまてらすすめおおみかみ）にお供える、神宮で非常に重要とされているお祭りです。

宮中では天皇陛下が神宮を遙拝し、賢所で親祭を行われ、当日は全国の神社で慶祝の意をこめて奉祝祭が斎行されます。

講社大祭 十月二十五日 午前十一時

当神社には、古くから「講中」という、団体で参拝される崇敬者（講員）の組織があります。

講社大祭は、講員を束ね導く先達や講元をはじめ、世話人などの参列のもと、大神様に国家の安泰と世界の平和、そして各講中と講員の隆盛を祈願するお祭りです。



十一月

一日 月次祭
二日 菊花品評会中咲き審査
三日 明治祭
八日 神事流鏝馬
十一日 菊花品評会遅咲き審査
十五日 一の午
二十日 霜月祭
二十三日 舞楽祭
新嘗祭・献穀献繭祭

茨城県菊花連盟菊花品評会

茨城県は全国的にも菊花栽培が盛んで、当品評会は昭和六年の開催から、本年度で八十回を迎えます。菊花は全国大会で優秀な成績を収めている方達に審査される為、全国大会への登竜門といえるほどレベルが高く、出品された菊は境内に並べられます。

神事流鏝馬 十一月三日

十時半、十四時半

昭和二十五年に始まり、農業の豊凶を占うと共に伝統文化の継承・保存を目的として、毎年文化の日に斎行しています。境内で安全祈願祭の後、笠間小学校前の特設馬場にて神事を斎行します。

新嘗祭・献穀献繭祭

十一月二十三日 午前十時

新嘗祭は、宮中および全国の神社で行われる収穫祭で、豊穣を祈る二月の祈年祭と対置されます。当神社では新嘗祭に併せて「献穀献繭祭（けんこくけんけんさい）」が行われ、新米や新繭を奉納し、神前に収穫を感謝します。



十二月

一日 月次祭
五日 一の午
二十二日 御火焚串炎上祭
二十三日 天長祭
二十八日 鹿島祓
大晦日 年越しの大祓



御火焚串炎上祭

十二月二十二日 午前九時

御火焚串という木製の板に参拝者自身が住所・氏名・願事などを記入し神前に奉納したものを、火の霊力によって罪穢れを祓い、願意成就・無病息災・除災招福を祈願します。

毎年冬至の日に積み上げた御火焚串に点火し、炎上祭を斎行します。

御火焚串は境内にて授与しております。(初穂料五百円)

天長祭 十二月二十三日 十一時

天皇陛下の御誕生日は天長節として古くから国を挙げてお祝い申し上げている日で、明治六年から天皇誕生日として国民の祝日に加えられています。

この佳き日に、天皇陛下の御降誕を御祝いして、聖寿の無窮と国民の幸福をお祈り申し上げます。

鹿島祓

十二月二十八日 午前十時

十二節の青竹に飾り付けた当神社独自の祓具と、米・酒・塩を用い、社殿や神苑を祓う神事です。

この鹿島祓により御本殿を始め、社務所各部署を祓い清めたのち、当社は新年を迎える準備に入ります。

笠間稲荷神社日誌



平成二十三年

赤字…祭典
緑字…行事
黒字…講中参拝・正式参拝

◆一月

一日 歳旦祭



高梨講・茨城日産自動車(株)・藤井講・
八千代講・下野小山須賀笠間稲荷講・
赤坂講(株)サンツア―海上営業所
元始祭

笠間市消防団初詣・小松稲荷講
新始祭

JR水戸鉄道サービス(株)・明誠講・
根崎解体工事(株)

海上芋苗組合

昭和天皇遥拜式

初甲子祭

東毛敬神講・穂波会

初事比羅祭

野尻笠間講(株)横山喜惣治商店

桜川市たばこ耕作共励会(株)国分建設

十二日

國學院大學硬式野球部初詣・
ヤマト運輸(株)茨城主管支店

茨城総合警備保障(株)

旗岡八幡神社宮司松本仁様来社

笠間ロータリークラブ初詣

尖閣諸島安全祈願祭

古札炎上祭

(有)秋田土木・房地講・正徳講

交通安全協会谷原分会

亀戸香取神社宮司香取邦彦様来社

東京平和講・嶋田商会・石井工業信友会

御本殿畳奉納奉告祭

(株)ナテック

野田市今上笠間稲荷講・弥栄講

キャラエーピー(株)・柏崎講

幸手講

初天神祭

防災訓練

二十六日



笠間稲荷門前講

笠間稲荷神社敬神婦人会初詣

野中組稲荷講・下三ヶ尾笠間講・
堀の内組

◆二月

二日

旧大祓式
笠間・友部街商組合

三日

旧歳旦祭
節分祭追儺式 女優羽田美智子様・
エチオピア大使マルコス・タクレ様
ご奉仕



共栄講・石の葉講・都賀町講・山高野講
木間ヶ瀬笠間講・船形観光友の会
大山笠間講

栃木市笠間会・太木講

北方領土返還祈願祭

初午大祭・針供養祭

下古山講・並木町笠間講・東京八方講

川上実行組合・取手市機械工業会

阿字ヶ浦保食講・サカイ会祈願会

武井神社宮司齋藤吉仁様来社

九日

台東区老連寿支部

◆ 紀元祭

- 十一日 野田市信栄講・船形笠間稲荷講
- 十二日 中峰笠間講・鶴ヶ丸講
- 十三日 野田市蕃昌笠間稲荷講
- 十四日 **祈年祭・初穂講大祭**
- 十七日 JAながの信濃町支所億友会
- 十九日 井沼方講・中野台笠間講
- 二十日 豊田稲荷講・旭市奉賛会・松原稲荷神社
- 二十日 網戸中宿稲荷講・川口商栄講・元町笠間稲荷講
- 二十一日 東京弥栄講
- 二十二日 出羽三山神社職員御一同様来社
- 二十四日 貴船笠間講・野田七親講
- 二十四日 **当社責任役員会・総代会**
- 神宮大宮司鷹司尚武様来社



- 二十五日 鶴岡八幡宮宮司吉田茂穂様来社
- 二十五日 山梨県神社庁長羽中田進様来社
- 二十七日 笠間一心講・栄町講
- 二十七日 本妙講・大相模笠間講・下落合笠間稲荷講

◆ 三月

- 三日 出羽三山神社職員御一同様来社
- 五日 山梨県神社庁峡南支部長深澤哲夫様来社
- 六日 笠間稲荷高柳講・上花輪稲荷講
- 八日 森ノ根稲荷講
- 十日 **甲子祭**
- 十三日 秋山講
- 十六日 **旧初午大祭**
- 向町稲荷講・阿字ヶ浦西久保稲荷講・心和講
- 二十一日 **春季皇霊祭遥拜式**
- 二十一日 **絵馬祭奉告祭**
- 二十四日 幸栄親睦会
- 二十六日 浦和辻神仰会
- 二十八日 **新入社員研修開始**

◆ 四月

- 一日 **新入社員入社奉告祭**
- 二日 神社本庁副総長・神社新報社社長・熱田神宮宮司
- 二日 小串和夫様来社
- 三日 大櫻笠間講
- 三日 神武天皇遥拜式
- 四日 小笠原流弓馬術礼法小笠原御夫妻来社
- 八日 神宮少宮司高城治延様来社
- 九日 水戸東照宮宮司久米章夫様来社
- 十日 **例大祭**
- 十日 **東日本大震災復興祈願祭**
- 十日 東京笠間講

◆ 五月

- 十五日 柳沢胡桃下稲荷講
- 二十九日 **昭和祭**
- 三十日 **絵馬コンクール表彰式**

◆ 五月

- 二日 芝崎神社宮司松木猛様来社
- 九日 **甲子祭**
- 十日 **御田植祭**
- 十四日 **Masao震災復興支援ライブ開催**



- 十五日 東京笠間信友講
- 十五日 東京大神宮宮司松山文彦様来社
- 十九日 小鹿野笠間講
- 十九日 **本宮祭(東京・千葉・神奈川)**
- 二十日 **本宮祭(茨城・栃木)**
- 二十一日 伊弉諾神宮宮司本名孝至様来社
- 二十一日 **本宮祭(埼玉・群馬・福島・その他)**
- 二十二日 東京製本笠間講・東京笠間報恩講
- 二十九日 鶴岡八幡宮宮司吉田茂穂様来社
- 三十一日 矢板市・笠間市こども会育成連合会舍人講
- 三十一日 伏見稲荷大社宮司中村陽様来社

第104回
笠間の菊まつり



日本三大稲荷
笠間稲荷神社

かさまを彩る菊もよう

大菊花展 菊人形展

平成23年

10月15日

土

11月23日

祝水

8時半～16時半（入場は16時まで）

※但し10月15日は11時～



菊人形展

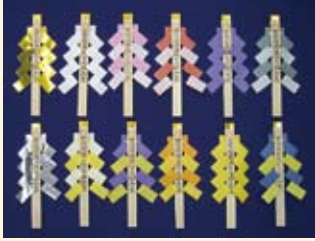
江



月詣り

御祭神宇迦之御魂神は「いのち」の根の神として、衣食住・殖産御守護と、人々の生活すべてに御神徳のある大神様であり、恩頼（おんより）にあらずかる崇敬者の中には「月詣り」をされる方が大勢いらつしやいます。

月詣りとは、月毎に大神様の加護を受け、前月よりの平穏無事を感謝し、新たな御神徳を頂くことであります。月詣りの方には神苑に咲く花を表した御幣を授与しております。どの月からでも始められますので、ご希望の方は受付までお申し出下さい。



祈禱案内

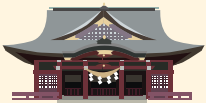
報賽

報賽とは、大神様にお礼を申し上げるご祈禱です。お正月には新年のご挨拶と共に一年の無事を祈り、年の終わりにはお礼のご祈禱を致しますよう。大神様のご加護により、日々無事に過ごすことができていますを感じ、当たり前のようになっている事へも感謝するところに、更なるご加護を頂く事ができるでしょう。

当社ホームページからもご祈禱のご予約ができます。

◎ホームページ

<http://www.kasama.or.jp/>



奉納募集

当社では威儀物や祭典に用いられる祭具のご奉納をお受け致しております。

ご奉納頂ける方は当社社務所までご相談下さい。また、これまでにご奉納頂きましたご崇敬者の皆様に厚く御礼申し上げます。



◎奉納者芳名

杉本 栄 殿

「三方二台」

小 一 条 忠 平 殿

「朱塗り三方五台」

沼尻産業株式会社

代表取締役社長

沼尻 年正 殿

常陸七福神霊場



常陸七福神めぐり

くお問い合わせは各社寺へく

東京・日本橋
七福神詣も
どうぞ!

七難即滅、七福即生

七福神信仰は、室町時代より続く庶民信仰で、七福神とは「日本・中国・インドの三国の福の神が七神そろって宝船に乗り、人々に幸福をもたらす」という、庶民のための心やさしい神様のことです。

常陸七福神は、霞ヶ浦を中心に全国でも珍しく八つの神社とお寺に安置されています。

日本には数多くの七福神めぐりがありますが、常陸七福神めぐりは全国で最も巡拝路が長く、達成感はひとしおです。各社寺で朱印や御守りを授与しており、ます。どうぞ巡拝し、幸福をお受け下さい。

①大黒天 笠間稲荷神社

笠間市笠間1

TEL0296(73)0001

②毘沙門天 西光院

石岡市吉生2734

TEL0299(43)6938

③寿老人 西蓮寺

行方市西蓮寺504

TEL0299(56)0107

④福祿寿 長勝寺

潮来市潮来428

TEL0299(62)3808

⑤弁財天 逢善寺

稲敷市小野318

TEL0297(87)2162

⑥七福神 眞延寺

土浦市西真鍋4-43

TEL0298(22)4462

⑦恵比寿 筑波山神社

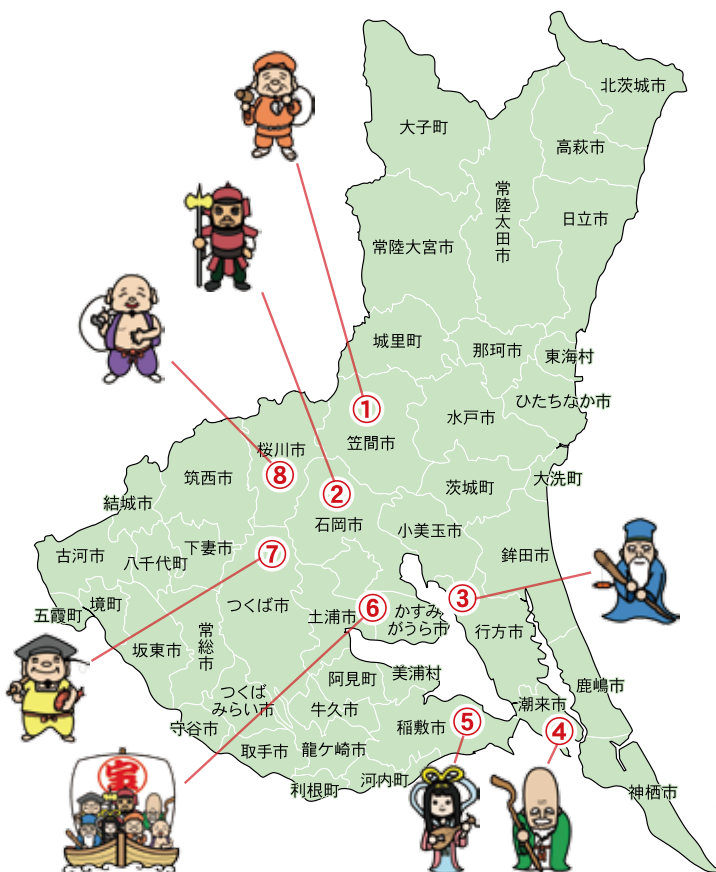
つくば市筑波1

TEL0298(66)0502

⑧布袋尊 月山寺

桜川市西小埜1677

TEL0296(75)2251



下町の情緒あふれる日本橋でも、七福神めぐりが出来ます。日本橋七福神は、どの神様も神社に祀られており、巡拝路が全国で最も短く、約二時間で巡拝が叶います。

当社東京別社には、長寿延命・お導き・幸福の神様である寿老人が祀られており、正月には初詣参拝者と共に七福神詣の巡拝者で社頭が大変賑わいます。詳細は左記の各神社にお問い合わせ下さい。

①寿老人

笠間稲荷神社東京別社

②恵比寿

日本橋浜町二一十一六

③恵比寿

日本橋堀留町一一十二

④福祿寿

日本橋小網町十六二十三

⑤布袋尊

日本橋小網町十六二十三

⑥辨財天

日本橋本町三十一

⑦大黒神

日本橋小網町十六二十三

⑧毘沙門天

日本橋本町三十一

⑨大黒神

日本橋小網町十六二十三

⑩辨財天

日本橋本町三十一

⑪大黒神

日本橋小網町十六二十三

⑫毘沙門天

日本橋本町三十一

⑬大黒神

日本橋小網町十六二十三

⑭毘沙門天

日本橋本町三十一

中央区日本橋人形町二一二十五一二十

2



1



3



4



5



- 1 大黒天神札 (100円)
- 2 七福神朱印色紙 (600円)
- 3 大黒天絵馬 (500円)
- 4 大黒天カード守 (500円)
- 5 大黒天福德守 (800円)



▲甲子の日には、甲子祭が斎行されます。商売繁盛、開運招福を願う甲子講の皆様が、たくさん参列されています。(初穂料500円より)

七福神で八つの幸せ



① 笠間稲荷神社

大黒天



▲大黒天は、笠間稲荷神社拝殿の右側、藤棚の奥に祀られています。

笠間稲荷神社には、常陸七福神のうち大黒天が祀られています。大黒天は、中世、仏教とともに日本に伝えられ、大国主命と習合し、一体の神となりました。糧食を司る神で、福德や財宝を与える神として信仰されており、主に、くくり頭巾、狩衣姿で、左肩に袋を背負い、右手に打ち出の小槌を持ち、米俵の上ののった姿をしています。御縁日は、隔月甲子の日で、十五時より甲子祭が斎行されます。ぜひご参列ください。



神社の いろは

Q 神社では誰でも結婚式を挙げることができるのですか？

A できます。神前結婚式を挙げる上で大切なことは、神社を信仰する気持ちで、大神様の前で夫婦の誓いをすることに意味があります。



Q 式の費用はどのくらいかかるのでしょうか？

A 当社では鶴式10万円、亀式5万円の二通りあります。詳細は神社にお問い合わせ下さい。

Q 自分の好きな衣装を着てもよいのでしょうか？

A 大神様に失礼にならない衣装であれば、和装・洋装どちらでも結構です。当社では衣装のご用意や美容室のご紹介は致しておりませんのでご了承ください。

Q 三三九度とは何ですか？

A 三三九度とは、酒盃を取り交わす回数を表したもので、酒を一杯飲むことを一度といい、三杯（三度）飲むことを一献として、これを三献、つまり九杯（九度）酒盃を頂く作法のことをいいます。大神様にお供えた御神酒を新郎新婦が戴くことで、夫婦の契りが固く結ばれます。



神前結婚式のお申し込み・ご質問・ご相談等は、神社内 崇敬係（すうけいかり）までお願いします。また、祭典等の都合によりご案内できない場合がございますので、ご来社前に必ずお電話にてお問い合わせ下さい。

笠間稲荷神社社務所 0296(73)0001



笠間稲荷神社

社報「胡桃」No.27 平成23年7月発行 発行所／笠間稲荷神社社報編集委員会 茨城県笠間市笠間1番地
電話0296(73)0001代 FAX0296(73)0002 テレホンサービス0296(73)0003ホームページ<http://www.kasama.or.jp/>
Eメールinfo@kasama.or.jp 編集発行人／塙 東男 本誌の写真、イラストレーション、記事の無断転載を禁じます。